

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、24～27℃台を示し、平年並み～やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網—月夜間と台風の影響で漁獲日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり0.6トンの水揚げで、前週の20%（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり1.1トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣——ケンサキイカは、壱岐勝本地区では1日当たり28kgの水揚げで、前週を下回った（前年を下回った）。
- 定置網——五島有川地区では、トビウオなどが1日1統当たり1.3トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり19kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり19kgの水揚げで、前週の13%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/5～9/9の5日間）沖合イカ釣り船（船凍船）は、能登半島沖、佐渡沖及び山形沖で操業。赤イカは北太平洋に出漁。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、今期も台風の影響で殆ど出漁出来ず、能登半島沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）1日延4隻、総計54箱、1航海最高17箱、平均13.5箱。スルメイカ（20～25入）5箱、ケンサキイカ（2～3立半）49箱の混獲となった。台風の影響で僅かな漁獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第2-24号 長崎県周辺海域の海面水温（9月号）・第2-25号 小トビ（トビウオ未成魚）飛翔目視調査結果」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>